

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	こども - 13	青少年会館管理運営事業	☐ 法定受託事務
所管課	こどもみらい部 青少年課	評価者	青少年課長 安富 誠人
一般	会計	款 55	項 20
目 20			
総合計画上の位置付け	分野名	青少年育成	施策の方針名 青少年の育成・支援

1 事業の目的

対象	青少年	意図	交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。
効果	青少年の健全育成に寄与する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度: 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度(未定)
事業工程	青少年会館（2施設）の管理・運営	青少年会館（2施設）の管理・運営	青少年会館（2施設）の管理・運営
予算額（千円）	27,567	27,167	
国県支出金			
地方債			
その他	2,614	2,650	
一般財源	24,953	24,517	0
当初人員配置数	14.1	15.1	0.0
人件費（千円）	27,344	30,513	0
事業実績	青少年会館（2施設）の管理・運営		
決算額（千円）	22,987		
国県支出金			
地方債			
その他	2,848		
一般財源	20,139	0	0
人員配置実績数	14.1	0.0	0.0
人件費（千円）	27,064	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	青少年会館講座回数	回	79	⇒	57		
活1	実績につながる活動	青少年を対象とした講座を開催することで、青少年の活動と交流の場を提 供した				481		

活動結果指標の実績に 影響を与えた外部要因	・活動結果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動 結果指標の達成状況に 対する評価	・「COCORUかまくら」のイベント開催とのバランスを考慮し青少年会館講座数は一時的に減少しているが、市全体としては引き続き青少年の交流と活動の場の提供に寄与できている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No (最大3つ)
成1								

成果指標の実績に影響 を与えた外部要因	・成果指標なし
本事業実施に伴う成果 指標の達成状況に 対する評価	・成果指標なし（施設の管理運営を主とした事業であり、活動結果（アウトプット）が成果（アウトカム）となるため、成果指標による評価が馴染まないため。）
活動結果指標と成果指 標結果の比較分析（寄 与度）	・成果指標なし

5 評価結果

評 価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効 率 性	事業費削減余地	☒ ある	☐ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方 向 性	公 平 性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内 容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規 模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		未解決	玉縄青少年会館の今後のあり方について検討を進めたが、結論には至らなかった。	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たな課題あり	玉縄青少年会館については、消防玉縄出張所とは切り離し、機能も含めて今後のあり方を検討していく。	
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新規事業の必要性あり	玉縄青少年会館の施設老朽化への対応、未利用部分の活用に取り組んでいく。	
	総評	鎌倉青少年会館の更なる有効活用を図る。 玉縄青少年会館については、消防玉縄出張所とは切り離し、機能も含めて今後のあり方を検討していく必要がある。			上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	青少年会館数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	逗子市				
他市実績	2 施設	2 施設	1 施設	0 施設	0 施設				
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣自治体では青少年会館を廃止・機能統合した自治体もある。								